

平成十六年三月二十三日提出  
質問第四八号

予定価格と落札価格が同一の入札に関する質問主意書

提出者 長妻 昭

予定価格と落札価格が同一の入札に関する質問主意書

一 国発注のすべての事業（工事、物品購入、役務等）の入札において、平成一四年度に落札価格と予定価格が同一の入札案件が五五八二件あることが政府によって示された。

1 五五八二件を省庁別（外局等別）に分けて件数を提示頂きたい。同時に、当該部署が平成一四年度一年間に実施された入札総数も提示願いたい。そして、省庁別（外局等別）に入札総数を分母とし、予定価格と落札価格が同一の入札数を分子とした割合も提示頂きたい。

2 この五五八二件すべてを業者へのヒアリングも含めて、調査頂き、予定価格の情報漏洩や談合などが疑われたり、認定されたケースがあれば、案件ごとに認定の詳細、懲戒処分等の処分状況、告発等状況、発注元省庁部局、発注内容・時期、予定価格、落札金額、落札業者、入札業者をお教え願いたい。また、五五八二件のうち、問題の無かった入札案件はどの案件か、案件ごとに発注元省庁部局、発注内容・時期、予定価格、落札金額、落札業者、入札業者をお教え願いたい。

3 政府は独自に調査に着手されている。この五五八二件に関して、福田官房長官は記者会見で記者から談合や情報漏洩の疑いを指摘され「よく確認をする必要があると思います、まあ、一件一件どういうふ

うなことだったのかね、ちよつと状況は調べなきゃわからない」と述べておられる。さらに平成一六年二月一七日の衆議院本会議で、福田官房長官は「長妻議員から、落札率をはじめとする入札等に関する質問主意書についてのお尋ねがございました。先ほど財務大臣からも答弁がございましたけれども、本件は、契約事務の執行に当たる各省各庁において、現在、事実関係の確認等が行われているものと承知しております。なお、公正取引委員会におきましては、各省各庁における事実関係の確認結果を踏まえ、事業者が共同して受注予定者を決定するというような独占禁止法に違反する疑いがある具体的事実 に接した場合には必要な調査が行われるものと承知しております。」と答弁されている。当日の同本会議で、谷垣財務大臣も「落札率をはじめとする入札等に関する質問主意書についてのお尋ねです。御指摘の質問主意書に係る入札案件については、契約事務の執行に当たる各省各庁において、現在、事実関係の確認等が行われているものと承知しております。財務省としては、各省各庁において、事実関係の確認等が適切かつ可及的速やかに行われることを期待しております。」と答弁された。

現在、各省庁等にどのような調査指示が出されているのか。また、調査期限はいつまでと指示されたのか。その政府調査結果も合わせてお示し願いたい。

4 平成一六年三月一日の衆議院予算委員会分科会において、森下会計検査院長に、予定価格と落札価格が同一の案件の検査への着手を要請したところ「そういうものの中で、個別にそういう検査ができる機会があれば、それは検査をしてみたいと思いますが、談合につきましては、私ども会計検査院は直接そういうものを究明する立場にはございません。予定価格の積算が適切であるかどうかという検査、これは従前からもやっておりますし、これから引き続ききちんとやっていきたい、こういうふうにご考えております」と答弁された。この五五八二件の検査あるいは調査が必要と考えるが、それぞれの省庁（社会保険庁は除く）は、会計検査院が検査あるいは調査をすれば全面的に協力されるか否かお答え願いたい。

また、それぞれの省庁は、公正取引委員会にも全面的に協力するか否かお答え願いたい。

二 特殊法人、認可法人、独立行政法人、公益法人等発注のすべての事業（工事、物品購入、役務等）のいわゆる入札において、落札価格と予定価格が同一の入札案件について政府にお尋ねする。

1 過去一年間で、何件あったか。特殊法人、認可法人、独立行政法人、公益法人等別に件数をお示し願いたい。

2 過去一年間で、落札金額の高い順に一〇〇の入札案件をお示し願いたい。案件ごとに予定価格の公表の有無、発注元組織名、発注内容・時期、予定価格、落札金額、落札業者、入札業者をお教え願いたい。

三 すべての地方公共団体発注の事業（工事、物品購入、役務等）の入札において、落札価格と予定価格が同一の入札案件について政府にお尋ねする。

1 過去一年間で、何件あったか。地方公共団体別に件数をお示し願いたい。

2 過去一年間で、落札金額の高い順に一〇〇の入札案件をお示し願いたい。案件ごとに予定価格の公表の有無、発注元地方公共団体名、発注内容・時期、予定価格、落札金額、落札業者、入札業者をお教え願いたい。

右質問する。